

平成22年度 京都府立医科大学決算概要

平成 23 年 7 月
事務 局 経 理 課

【決算概要】

○平成22年度決算は、経常費用287億9千8百万円、経常収益291億3千9百万円であり、
経常損益は、3億4千万円の黒字。

○運営費交付金が毎年度減少している一方で、附属病院収入の増加により大学全体の収益は増加。

○人件費は、常勤の教職員人件費が人員減及び人勧の影響により、2億5千3百万円減少する一方
研修医、専攻医、大学院生の診療謝金、手当の増加等により非常勤職員人件費が2億3百万円増
加。また、退職手当の増加により、人件費全体としては、2億1千9百万円増加。

○教育経費及び研究経費は、維持管理など経常的費用である一般管理費等の削減により、事業費を
確保し、前年度比7.2ポイント増加。

○診療経費は、診療実績の大幅な伸びに伴い、医薬費等の経費が2億3千7百万円増加。

○平成22年度は、過年度教職員人件費を臨時損失として計上。

(単位:百万円)

	22年度	21年度	増 減
教育経費	250	205	45
研究経費	964	927	37
教育研究支援経費	111	111	0
診療経費	11,755	11,518	237
人件費	14,733	14,514	219
受託研究・事業費	526	452	74
一般管理費等	456	658	▲ 202
経常費用 計	28,798	28,387	410

	22年度	21年度	増 減
運営費交付金収益	4,940	4,982	▲ 42
学生納付金収益	754	757	▲ 3
附属病院収益	20,553	19,490	1,063
受託研究等収益	622	533	89
寄附金・補助金収益	1,075	1,386	▲ 311
その他収益	1,192	1,359	▲ 167
経常収益 計	29,139	28,509	629

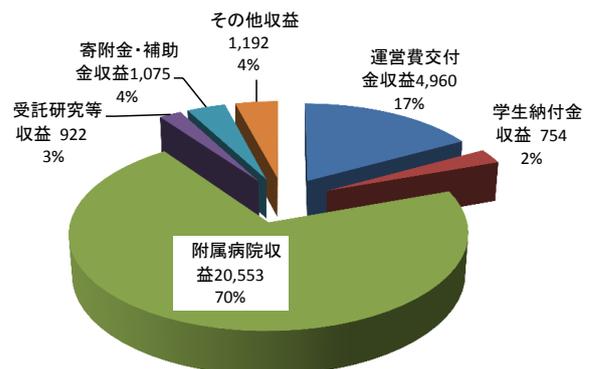
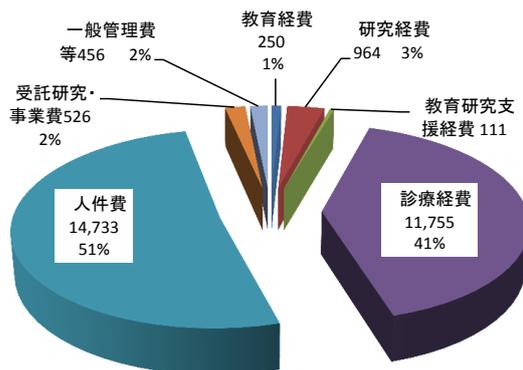
注) 京都府公立大学法人運営費交付金 5,335百万円
(上記収益化額+償還負担金等)

経 常 損 益	340	121	219
臨 時 損 失	149	5	144
当 期 純 利 益	194	124	70
当 期 総 利 益	200	135	65

臨 時 利 益	3	8	▲ 5
目 的 積 立 金 取 崩 額	5	11	▲ 6

注)各金額は単位未満を切り捨てしているため、計は一致しない。

【経常費用・経常収益の構成比】



京都府立医科大学の財務状況の特色

◆ 事業費総額等

- ・ 京都府立医科大学及び附属病院の事業費は、平成20年度の法人化以降、285億円前後で推移している。
- ・ 事業費のうち、人件費が約5割、診療経費が約4割で、本学の事業費の大半を占めている。
- ・ 運営費交付金は年々減少しているものの、外部資金や附属病院収入等の増により、事業費を確保し、平成20年度からの3年間は経常損益は黒字となっている。

◆ 人件費

- ・ 人件費は、教職員数の減及び人勧の影響により、常勤の教職員人件費は減少したところであるが、附属病院の診療に従事する研修医、専攻医、大学院生等の診療謝金、手当等により、非常勤職員人件費が大幅に増加するとともに、退職手当が増えたことにより、昨年度に比べ、2億1千9百万円増加している。
- ・ 人件費は、事業費の5割以上を占めており、今後の円滑な財務運営を行っていくためには人件費割合の抑制が課題となっている。

◆ 附属病院収益

- ・ 平成22年4月の診療報酬改定のほか、手術件数、病床利用率、入院在日数など、経営努力を行った結果、前年度を10億円以上、上回った。

